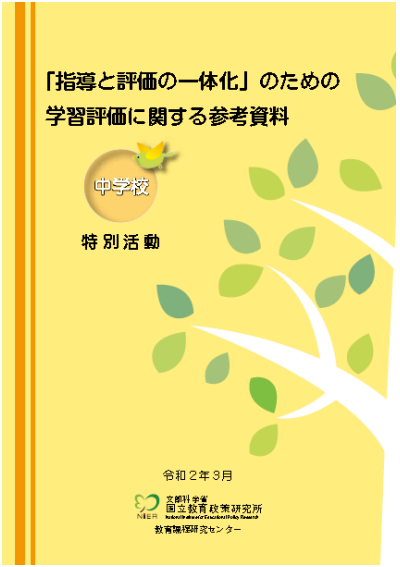
新学習指導要領に対応した学習評価
（中学校　特別活動）



文部科学省　初等中等教育局
教育課程課教科調査官
児童生徒課生徒指導調査官

長田　徹

独立行政法人教職員支援機構

目次

はじめに

１．特別活動における評価の観点と趣旨

２．内容のまとまりごとの評価規準

３．学習評価について
・評価の手順　等
・生徒指導要録における特別活動の記録
・学習評価に関する事例

はじめに

学習評価の改善の基本方針

学校における働き方改革が喫緊の課題となっていることも踏まえ，次の基本的な考え方に立って，学習評価を真に意味のあるものとすることが重要。

① 生徒の学習改善につながるものにしていくこと

② 教師の指導改善につながるものにしていくこと

③ これまで慣行として行われてきたことでも，必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例

特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから，各学校が評価の観点を定める

改善等通知の別紙4の例示をもとに具体的に観点を定めた例

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や，活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自己実現に必要となる情報及び方法を理解している。 よりよい生活を構築するための話合い活動の進め方，合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため，問題を発見し，解決方法を話し合い，合意形成を図ったり，意思決定をしたりして実践している。	生活や社会，人間関係をよりよく構築するために，自主的に自己の役割や責任を果たし，多様な他者と協働して実践しようとしている。主体的に人間としての生き方について考えを深め，自己実現を図ろうとしている。

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例　重点化①

特別活動における資質・能力の視点（「人間関係形成」）をもとに重点化を図った例

観点	**互いのよさを生かす関係をつくるための知識・技能**	**協働してよりよい集団生活を築くための思考・判断・表現**	**主体的に多様な他者と関係をつくろうとする態度**
趣旨	個人と集団との関係性および集団活動の意義を理解し，社会生活におけるきまりやマナーに則った行動の仕方を身に付けている。	様々な場面で，自分と異なる考えや立場にある他者を尊重して認め合い，支え合ったり補い合ったりして協働している。	様々な集団に積極的に所属し，他者の価値観や個性を受け入れ，新たな環境のもとで互いの可能性を発揮できる関係を築こうとしている。

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例　重点化②

特別活動における資質・能力の視点（「社会参画」）をもとに重点化を図った例

観点	**集団の一員として活動するために必要な知識・技能**	**集団や社会をよりよくするための思考・判断・表現**	**よりよい社会の形成に向けて主体的に自己を生かす態度**
趣旨	学級・学校集団や社会生活の中で他者と協力して役割を果たすことの意義を理解し，そのための話合いの進め方を身に付けている。	学級や学校，社会生活の充実・向上のために課題を発見し，集団としての解決方法を合意形成したり，個人としての実践目標を意思決定したりしている。	現在及び将来の自己の活動や役割を振り返ることで，成長や課題を認識し，これからの集団生活の改善に生かそうとしている。

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例　重点化③

特別活動における資質・能力の視点（「自己実現」）をもとに重点化を図った例

観点	将来の自己と学びを結びつけるために必要な知識・技能	自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現	主体的に人間としての生き方を選択しようとする態度
趣旨	将来の社会的・職業的な自立と現在の学習とのつながりを理解し，自己の生活をよりよくするために個性を活かす方法を身に付けている。	集団の中で，個々人が共通して直面する現在及び将来に関わる課題を発見するとともに，必要な情報を収集・整理して考察し，解決に向けて意思決定している。	日常の生活や自己の在り方を自主的に改善するとともに，将来を思い描き，自分らしい生き方を主体的に選択しようとしている。

「内容のまとまりごとの評価規準」の作成

〔中学校特別活動における内容のまとまり〕

学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画
（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（３）一人一人のキャリア形成と自己実現

生徒会活動

学校行事（１）儀式的行事，（２）文化的行事，（３）健康安全・体育的行事，
（４）旅行・集団宿泊的行事，（５）勤労生産・奉仕的行事

「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順

学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に，各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

↓

観点ごとのポイントを踏まえ，「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

観点ごとの評価規準作成のポイント 「知識・技能」

○「知識・技能」のポイント

・「知識・技能」は，話合いや実践活動における意義の理解や基本的な知識・技能の習得として捉える。

・学習指導要領解説における資質・能力の例に示されている内容の意義を確認する。

・文末を「～を理解している，～を身に付けている」とする。

観点ごとの評価規準作成のポイント 「思考・判断・表現」

○「思考・判断・表現」のポイント

・「思考・判断・表現」は，話合いや実践活動における，習得した基本的な知識・技能を活用して課題を解決することと捉える。

・「表現」は，これまでと同様に言語による表現にとどまらず，行動も含んで捉えることとする。

・文末を「～している」とする。

観点ごとの評価規準作成のポイント 「主体的に学習に取り組む態度」

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

・「主体的に学習に取り組む態度」は，自己のよさや可能性を発揮しながら，主体的に取り組もうとする態度として捉える。

・目標をもって粘り強く話合いや実践活動に取り組み，自らの活動の調整を行いながら改善しようとする態度を重視することから，「見通しをもったり振り返ったりして」という表現を用いる。

・文末を「～しようとしている」とする。

「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順

学級活動においても，生徒の発達の段階などを考慮し，評価規準を作成することが考えられる。

【学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」の評価規準（例）】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け，話し合い，多様な意見を生かして合意形成を図り，協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し，見通しをもったり振り返ったりしながら，他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

評価の手順

①指導と評価の計画の作成

・特別活動の全体計画及び各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画を作成する。

②評価のための基礎資料の収集

・計画に基づいて，評価のための基礎資料を収集する。

③評価の実施

・収集した資料を各学校で定めた所定の手続きにしたがって多面的・総合的に判断し，評価を行う。

④評価体制の改善

・評価結果を各学校における指導や評価体制の改善に生かす。

評価規準の作成と「目指す生徒の姿」の設定

第2編を活用

各活動・学校行事ごとの評価規準の作成

↓

1単位時間の指導計画

「目指す生徒の姿」を具体的に複数設定

評価の留意点

○評価体制を確立し，学校全体で共通理解を図る。

○生徒のよさや可能性を多面的・総合的に評価する。
活動の結果だけでなく，活動の過程における生徒の努力や意欲などを積極的に認める。

○評価を通じて，教師が自己の指導の内容や方法，指導過程等を振り返り，より効果的な指導が行えるように工夫改善を図る。

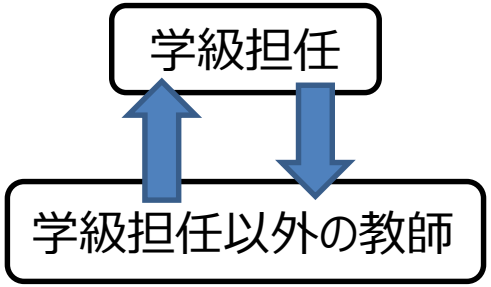
評価体制の確立

学級活動において

主として学級担任が事前の見通しから事後の振り返りまでの生徒の様子から，積極的によさや可能性を見取るようにする。

生徒会活動，学校行事において

※評価に必要な資料を収集する方法を工夫するとともに，それらが学級担任の手元に収集され，活用されるようにする。



※個々の生徒の活動状況について担当する教師との間で情報交換を密にする。

生徒指導要録への記入例　年度始め

【中学校生徒指導要録（参考様式）様式２（第２学年）の記入例】

特　別　活　動　の　記　録				
内　　容	観　点 ＼ 学　年	1	2	3
学級活動	よりよい生活を築くための知識･技能 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度			
生徒会活動				
学校行事	余白			

全学年で共通した，各学校で定めた評価の観点を記入する。

評価の観点の変更がある場合を想定して，余白をとっておく。

生徒指導要録への記入例　年度末

【中学校生徒指導要録（参考様式）様式２（第２学年）の記入例】

特　別　活　動　の　記　録				
内　　容	観　点 ＼ 学　年	1	2	3
学級活動	よりよい生活を築くための知識・技能 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○	○	
生徒会活動			○	
学校行事	余白		○	

各学校で十分満足できる活動の状況とは「生徒のどのような姿」を指すのかを検討し，共通理解を図ってその取組を進めることが求められる。そのうえで，「目指す生徒の姿」に照らして，十分満足できる活動の状況がみられた場合に指導要録に○を付ける。

なお，生徒のよさや可能性を積極的に評価することが大切である。

各活動・学校行事ごとに，十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に，○印を記入する。

参考資料内の事例の特徴

◇特別活動の事例の特徴

特別活動は，全校又は学年を単位として行う活動があり，また，学級担任以外の教師が指導することもある。このため，本参考資料（特別活動編）においては，学習指導要領に示された各活動・学校行事ごとに工夫例を交えながら評価の進め方や留意点等について記述している。

○1単位時間や年間の指導と評価の計画を示している

本参考資料で提示する事例は，いずれも，各活動・学校行事における議題や題材，活動の一つを例にとり，１単位時間の指導計画を示すとともに，「内容のまとまりごとの評価規準」に即して，本時における「目指す生徒の姿」を具体的に示した。

また，評価結果を生徒の学習や教師の指導の改善に生かすまでの一連の学習評価の流れを念頭において，事前から事後までの一連の学習過程を指導案の形で表し，「目指す生徒の姿」を本時の展開の中で具体的に示している。

参考資料内の事例の特徴

○評価方法の工夫を示している

各活動・学校行事において，特別活動ファイルやワークシート，活動の振り返りなどを活用した評価方法や補助簿を活用した評価方法などを資料として提示するなど，特別活動の特質や特性を踏まえて，評価方法の多様な工夫について示している。

また，特別活動は，全校又は学年を単位として行う活動があり，また，学級担任以外の教師が指導することもある。そこで，学級担任と各担当との連携の在り方についても示している。

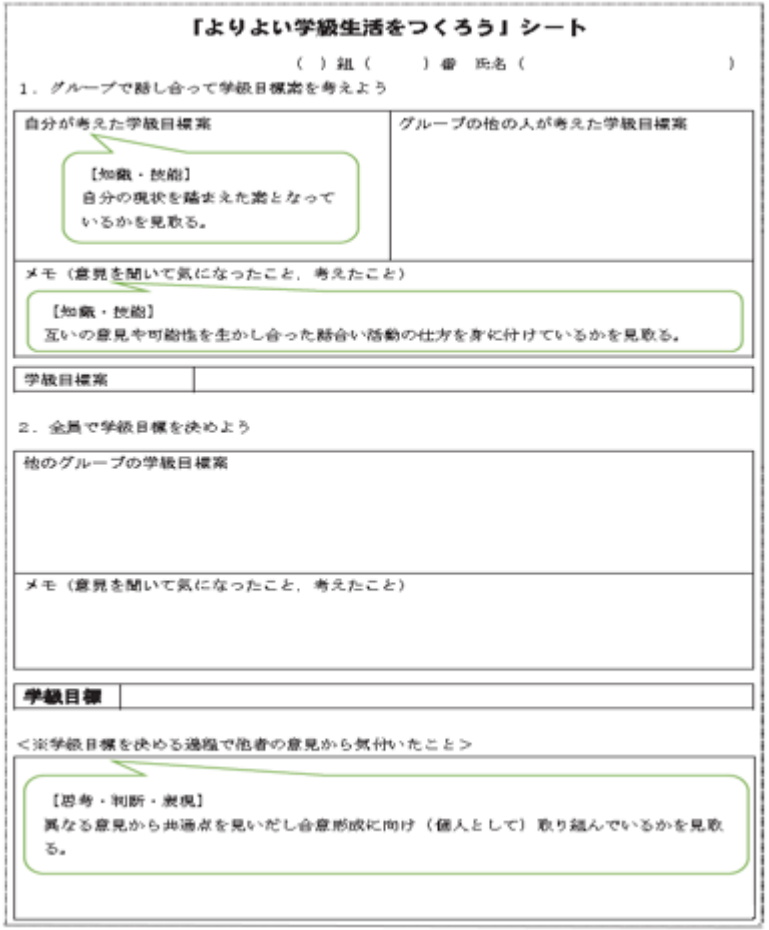
参考資料内の事例の特徴

○総括する評価について示している

特別活動は，各教科のように観点ごとの評価（ＡＢＣ）や評定はなく，指導要録において，観点を踏まえて，各活動・学校行事ごとに生徒の取組を総括的に評価するものである。

学級活動については，学級活動（１）（２）（３）の各活動における評価を総括する評価の仕方など，評価を総括する例を示すとともに，学習カードを活用した評価の工夫例や，年間を通じた評価結果を蓄積する工夫例についても示している。

各事例の概要について（第3編）　事例１



「よりよい学級生活をつくろう」シート

（　）組（　　）番　氏名（　　）

1．グループで話し合って学級目標案を考えよう

自分が考えた学級目標案	グループの他の人が考えた学級目標案
【知識・技能】 自分の現状を踏まえた案となっているかを見取る。	

メモ（意見を聞いて気になったこと，考えたこと）

【知識・技能】
互いの意見や可能性を生かし合った話合い活動の仕方を身に付けているかを見取る。

学級目標案	

2．全員で学級目標を決めよう

他のグループの学級目標案

メモ（意見を聞いて気になったこと，考えたこと）

学級目標	

＜※学級目標を決める過程で他者の意見から気付いたこと＞

【思考・判断・表現】
異なる意見から共通点を見いだし合意形成に向け（個人として）取り組んでいるかを見取る。

事例１　学級活動（１）の指導と評価の計画から評価の総括まで

「よりよい学級生活をつくろう」（ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決）（第１学年）

第１学年の学級開きにあたって，よりよい学級生活をつくることを議題とした話合い活動や実践活動についての一連の活動計画例，１単位時間の指導計画例，ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また，教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例についても取り上げた。

各事例の概要について（第3編）　事例１

イ　合意形成に向けた活動の見取り例

主たる活動の場において「どんな発言ができたか」→「意見をどう調整したか」→「意見に対してどう折り合いを付けたか」の視点で，話合い活動における生徒の発言を記録し，総括評価の時の担任評価の資料とする。下にその例を示す。

どんな発言ができたか	A：「尊重」という言葉は，絶対入れたい B：「尊重」って固くない？ C：「互いのよさを生かす」ではどうかな→○ D：「尊重」ってCさんが言うようなことだったと思う
意見をどう調整したか	E：でも「よさ」って限定的に聞こえるよね D：「互いの可能性」ではどうかな F：これまでの話し合いをまとめると「互いの可能性を生かす」ですよね。それを一歩進めて「互いの可能性を生かし合う」ではどうでしょうか→○
どう合意形成したか	司会：「互いの可能性を生かし合う」に修正意見はありませんか A：みんなのおかげで私は納得できました→○

担任による評価は，見取りのその時だけではなく，生徒のワークシート等も含め，話合い活動の流れの中で合意形成に寄与しているかを判断することも考えられる。その際は，合意形成に至る個人の変容に注目して評価することも大切である。

合意形成に向けた活動の見取り例

主たる活動の場において「どんな発言ができたか」→「意見をどう調整したか」→「意見に対してどう折り合いを付けたか」の視点で，話合い活動における生徒の発言を記録し，総括評価の時の担任評価の資料とする例を示した。

各事例の概要について（第3編）　事例１

ⅰ　ワークシートによる見取りの視点（担任用資料）

- 異なる意見に配慮すべきことが書かれている。
- 学級全体で協働して学級生活の向上を図ろうとすることが書かれている。

ⅱ　ワークシートの見取りの例

生徒Ａ　十分満足できる活動の状況（担任評価○）

＜学級目標を決めるときに気付いたこと＞

最後まで「時間を決めない」という考えにこだわっていたＡさんの意見も，学級目標に入れられて良かった。話し合いで意見を言わなかったＢ子さんに聞いたら，「自分もそう思っていた」といってくれたので，安心した。これからお互いの可能性を生かし合って楽しい学級にしていくことが大切だと思う。

異なる意見への配慮を見取ることができる。

（文章全体）合意形成に向かっていることを見取ることができる。

協働して向上しようとしていることを見取ることができる。

生徒Ｂ

＜学級目標を決めるときに気付いたこと＞

意見を言わなかった人にも聞いてみるべきだったと思う。時間内に決められて，よかった。

異なる意見への配慮が見られるが，協働して向上しようとする姿を見取ることができない。

生徒Ｃ

＜学級目標を決めるときに気付いたこと＞

自分の意見を堂々と言うことが大事。決まったことは守る。

異なる意見への配慮，協働して向上しようとする姿を見取ることができない。

こういった場合には，物事を多面的に見ることの必要性や多様性を欠く協議の脆弱性に気付くような指導助言が求められる。その際には，集団指導の場面でのガイダンスの機能を生かしたアプローチも考えられるが，個々の生徒のワークシートを活用していることから個別指導の場面でのカウンセリング機能を生かしたアプローチが有効と考えられる。

また，少数意見を大事にすること，そういった風土が生み出す効果についても指導する機会と捉えたい。

ワークシート（生徒の記録）からの見取り例

生徒一人一人の話合い活動の状況を１単位時間の授業ですべて見取ることは困難であり，主として前頁のワークシートの記述からの見取りを行う。しかし，記述の分析だけでは，十分ではない部分もある。それを補うため，実際の生徒同士の話合い活動の場での見取りを参考にすることも考えられる。

各事例の概要について（第3編）　事例１

氏名	学期　事項	教師の見取りによる評価			総括評価
		知・技	思・判・表	主体的態度	
A	前期　アイ	○○	○	○○	○
	後期　ウ	○	○		
	学年	○	○	○	
B	前期　アイ				
	後期　ウ				
	学年				

生徒氏名	（１）	（２）	（３）	指導要録
A	○	○	○	○
B	○	○		○
C		○		
D	○			○

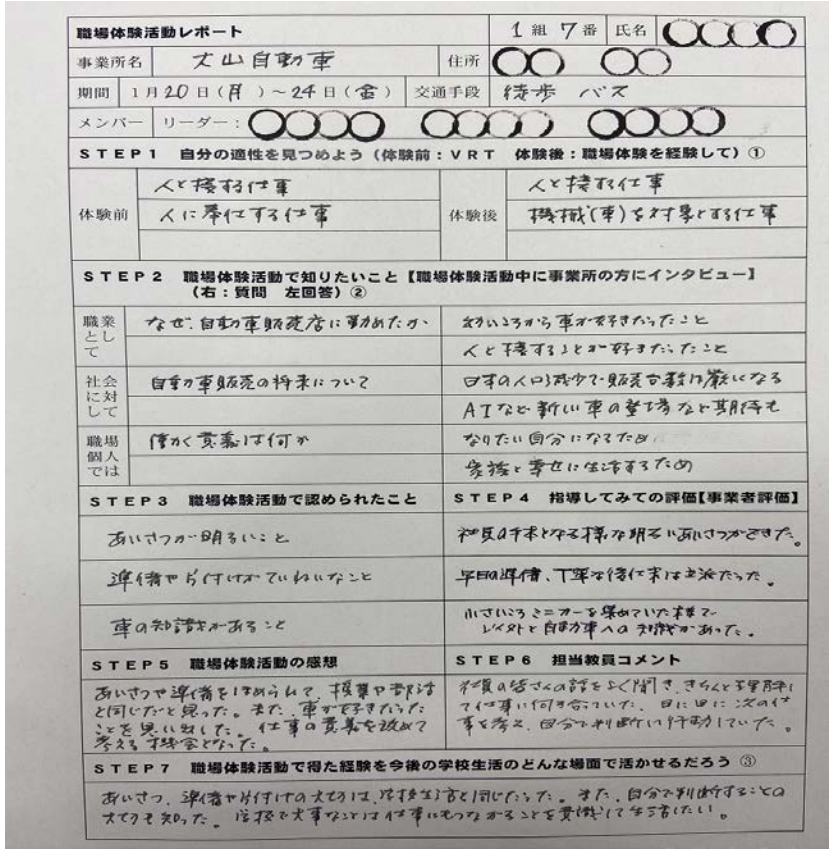
共通理解の上，内容項目２個以上○なら，指導要録を○と判断することも考えられる。

内容項目の重点化がある場合，この１つだけが○の場合でも指導要録を○とする場合が考えられる。例：学級活動（１）を重視している場合

評価の総括工夫例

学級活動については，学級活動（１）（２）（３）の各活動における評価を総括する評価の仕方など，評価を総括する例を示すとともに，学習カードを活用した評価の工夫例や，年間を通じた評価結果を蓄積する工夫例についても示している。

各事例の概要について（第3編）　事例２



職場体験活動レポート		1組 7番	氏名
事業所名	丈山自動車	住所	
期間	1月20日（月）～24日（金）	交通手段	徒歩 バス
メンバー	リーダー：		

STEP1　自分の適性を見つめよう（体験前：VRT　体験後：職場体験を経験して）①

体験前		体験後	
	人と接する仕事		人と接する仕事
	人に奉仕する仕事		機械（車）を対象とする仕事

STEP2　職場体験活動で知りたいこと【職場体験活動中に事業所の方にインタビュー】（右：質問　左回答）②

職業として	なぜ、自動車販売店に勤めたか	幼いころから車が好きだったこと
		人と接することが好きだったこと
社会に対して	自動車販売の将来について	日本の人口減少で販売台数は厳しくなる
		AIなど新しい車の登場など期待も
職場個人では	働く意義は何か	なりたい自分になるため
		家族と幸せに生活するため

STEP3　職場体験活動で認められたこと	STEP4　指導してみての評価【事業者評価】
あいさつが明るいこと	社員の手本となる様な明るいあいさつができた。
準備や片付けがていねいなこと	早目の準備、工事な後仕事は立派だった。
車の知識があること	小さいころミニカーを集めていた様で レベルと自動車への知識があった。

STEP5　職場体験活動の感想	STEP6　担当教員コメント
あいさつや準備をほめられて、授業や部活と同じだと思った。また、車が好きだったことを思い出した。仕事の意義を改めて考える機会となった。	社員の皆さんの話をよく聞き、きちんと理解して仕事に向き合っていた。日に日に次の仕事を考え、自分で判断して行動していた。

STEP7　職場体験活動で得た経験を今後の学校生活のどんな場面で活かせるだろう ③

あいさつ、準備や片付けの大切は、学校生活と同じだった。また、自分で判断することの大切も知った。学校で大事なことは仕事にもつながることを意識して生活したい。

事例２　学級活動（３）の指導と評価の計画から評価の総括まで

「体験活動を学校生活につなごう」（ア　社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成）（第２学年）

学年の職場体験活動における学びを，よりよい生活づくりに生かすことを題材にした一連の活動計画例，１単位時間の指導計画例，「キャリア・パスポート」を参考とした評価の工夫例を示した。また，教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例についても取り上げた。

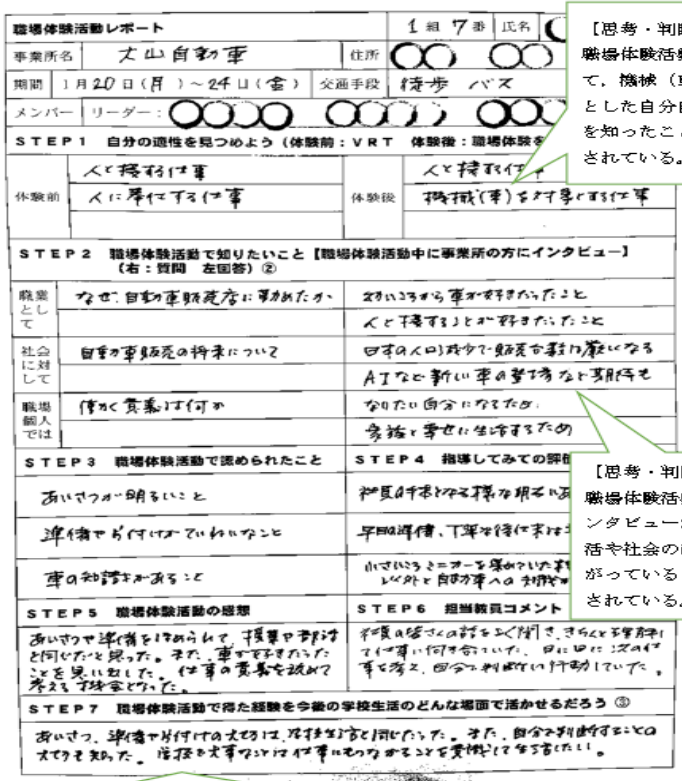
各事例の概要について（第3編）　事例２

時間	ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
本時	「体験活動を学校生活につなごう」 〇ねらい ・職場体験活動で学んだことをまとめ，今後の学校生活に生かす。 〇活動 ・職場体験活動レポートをまとめ，担当教員よりコメントをもらう。		職場体験活動で学んだことを自己と関わらせながら「キャリア・パスポート」に表現している。	担任からの助言や友人の声を参考に，職場体験活動の経験を学校生活に生かそうとしている。

一連の学習過程の見取り

学級活動の一連の学習過程のすべての段階において，「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的態度」の３つの観点を評価する必要はない。学習過程の活動に即して評価の観点を重点化した例を示している。

各事例の概要について（第3編）　事例２



職場体験活動レポート　1組 7番　氏名

事業所名：大山自動車　住所：○○ ○○

期間：1月20日（月）～24日（金）　交通手段：徒歩　バス

メンバー：リーダー：○○○ ○○○ ○○○

STEP1　自分の適性を見つめよう（体験前：VRT　体験後：職場体験を

体験前	体験後
人と接する仕事	人と接する仕事
人に奉仕する仕事	機械（車）を対象とする仕事

STEP2　職場体験活動で知りたいこと【職場体験活動中に事業所の方にインタビュー】（右：質問　左回答）②

職業として	なぜ、自動車販売に勤めたか	幼いころから車が好きだったこと
		人と接することが好きだったこと
社会に対して	自動車販売の将来について	日本の人口減少で販売台数が厳しくなる
		AIなど新しい車の登場など期待も
職場個人では	働く意義は何か	なりたい自分になるため
		家族と幸せに生活するため

STEP3　職場体験活動で認められたこと

あいさつが明るいこと

準備や片付けができていないこと

車の知識があること

STEP4　指導してみての評価

伝票作成など様々な用途に活用

早朝準備、丁寧な仕事は

小さいころからオーラを感じていた様子

以外と自動車への知識や

STEP5　職場体験活動の感想

あいさつや準備をほめられて、授業や部活と同じだと思った。また、車が好きだったことを思い出した。仕事の意義を改めて考える機会だった。

STEP6　担当教員コメント

様々な方々の話をよく聞き、きちんと整理して仕事に向き合っていた。日に日に次の仕事を考え、自分で判断し行動していた。

STEP7　職場体験活動で得た経験を今後の学校生活のどんな場面で活かせるだろう ③

あいさつ、準備や片付けの大切さは、なぜ生活と同じだった。また、自分で判断することの大切さも知った。学校も大事なことは仕事にもつながることを意識して生活したい。

［思考・判断・表現］
職場体験活動によって，機械（車）を対象とした自分自身の適性を知ったことが，表現されている。

［思考・判断・表現］
職場体験活動先でのインタビューが自分の生活や社会の改善につながっていることが表現されている。

［主体的態度］
本時評価の中心
「学校で大事なことは仕事にもつながることを意識して生活したい」との記述から職場体験活動で学んだことを学校生活で生かそうとしていることが分かる。

生徒の記録（「キャリア・パスポート」）を参考にした見取り例

職場体験など体験活動は，担任が直接見取れないことが多い。そこで，評価に当たっては，担任以外の担当教師の見取りの他に，生徒本人の自己評価，一緒に活動した友人からの声，職場の方からのコメントを含めて総合的に判断して評価をすることが求められる。ただし，評価者はあくまでも担任であり，生徒の学習活動である自己評価や友人からの声，職場の方からコメントは学習評価を行うための参考資料であること
を忘れてはならない。

各事例の概要について（第3編）　事例２

（２）全体を見通した補助簿

ここでは，全体を観点別による評価補助簿を例示する。

担任メモの番号と連動させた数字で整理することにより，○の根拠が分かるようにする。

生徒	知・技		思・判・表		主体的態度		担任メモ	総括
D	①				②	③	① 学ぶ意義，働く意義をよく理解している。（5／22） ② 人間関係形成には挨拶が大事であることを理解し，常に笑顔を心がけようとしている。（6／11） ③ 進路に明確な目標をもち，課題解決に向けて日々努力しようとしている。（7／1）	○
B	①		a				① 職場体験活動を通じて働く意義を理解している。（5／10） a 6／1 役割について面談	
C	①		②		③		① 自分の役割を理解している。（6／17） ② 社会における自分の役割を考え，表明し，実行しようとしている。（7／4）	

評価を指導に生かすため，場合によっては指導したことを記録することも考えられる。

総括で○をつける際には，学校で共通理解を図っておくことが重要である。

評価の総括工夫例

総括評価のための全体を見通した補助簿例を示している。○をつけた根拠が分かるようにメモを残すことが重要である。場合によっては指導した内容をメモすることも考えられる。

総括で○をつける際には，学校で共通理解を図っておくとこが重要である。

各事例の概要について（第3編）　事例３

③　学校生活を見直そう（生徒総会）

振り返りシート

	あてはまる	あてはまらない
1．主体的に全校の話合いに臨むことができた	４・３・２・１	
2．学校全体の課題を解決するために話し合うことができた	４・３・２・１	
3．学校生活の充実と向上を図るために，学校全体の生活の課題について解決策を考えようとした	４・３・２・１	

4．生徒総会を終えて，改めてこれから学級・学校のために自分がやるべきこと，頑張っていくべきことを書こう。（自由記述）

目指す生徒の姿

○協働して実行するために必要な計画や運営，合意形成の仕方などを身に付けている。【知識・技能】

○学校生活の充実と向上のための課題や提案を生かした活動の計画について考えている。【思考・判断・表現】

○互いの個性を生かして協力し，積極的に学校生活の充実と向上を図ろうとしている。【主体的態度】

	記述例	知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
E	同じ学年の仲間が一生懸命に答弁している姿を見て，自分が支えていこうと思った。			○
A	言葉で終わらせないで行動で示せるようにして，リーダーとして何をすべきなのか，どんな行動をとればいいのかを考えて身に付け，行動に移していこうと思う。	○	○	○

事例３　生徒会活動の指導と評価の計画から評価の総括まで

「学校生活を見直そう」（ア　生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営）（全学年）

生徒総会を通じて学校生活を見直すことを題材にした一連の活動計画例，１単位時間の指導計画例，ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また，教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例についても取り上げた。併せて，参考までに生徒総会時における指導と評価の計画についても示した。

各事例の概要について（第3編）　事例３

組織決めや学級審議の場面では担任がそのときの様子をメモし，評価に生かすようにする。

全校での生徒総会の場面では学年主任から見た生徒の様子をメモ等に控えてもらい，それを共有することで評価に生かすようにする。

		知・技	思・判・表	主体的態度	メモ	総括
1	A	○	○	○	組：学級委員長に立候補し，目指す学級の姿を語った 学：委員会の提案に対して賛成意見を述べた 生：代案を示し，建設的な意見を述べた	○
2	B		○	○	学：生徒会が提案する取組により具体的な活動を提案した 生：相手の意見に対して自分の考えを述べることができた	○
3	C	○			学，生：議論が逸れないように会を進めることができた	
4	D	○	○	○	組：前期から務めている委員会を続けたいと立候補した 生：生徒会長としてどんな学校にしていきたいかはっきりと伝えていた	○
5	E			○	生：発言はしていないが，答弁の内容を議案書にメモしていた	

補助簿の活用と総括

補助簿への記載も一連の活動がわかるよう工夫することが考えられる。例えば，組織の決定 → 組，　学級審議 → 学，生徒総会 → 生 といった，活動の略称等と併せて生徒の様子を記載することもありうる。また，生徒総会は全校の生徒をもって行う活動である。生徒一人一人の活動の状況を把握するために，学年や全校の教師が基礎資料を共有できるようにすることが重要である。

各事例の概要について（第3編）　事例３

	氏名	委員会活動			生徒会対面式			3年生を送る会			メモ	総括
		知・技	思判表	主体的	知・技	思判表	主体的	知・技	思表判	主体的		
1	A		○	○	○	○	○		○	○	書記委員会として，対面式に向けて計画的に合唱練習の日程を組み見通しをもって活動した。	○
2	B					○	○	○	○	○	3年生を送る会に向け，学級ごとの発表の案を出し，会の充実に協力した。	○
3	C	○		○	○					○	生活委員長として，時間を守って行動できるような活動を計画した。	
4	D	○	○	○			○			○	広報委員会として，広報文化の発展のため意欲的に新聞を発行した。対面式や送る会についての記事を取り上げるなど，行事を盛り上げるための活動を行った。	○
5	E	○			○			○			与えられた仕事をしっかり行った。	

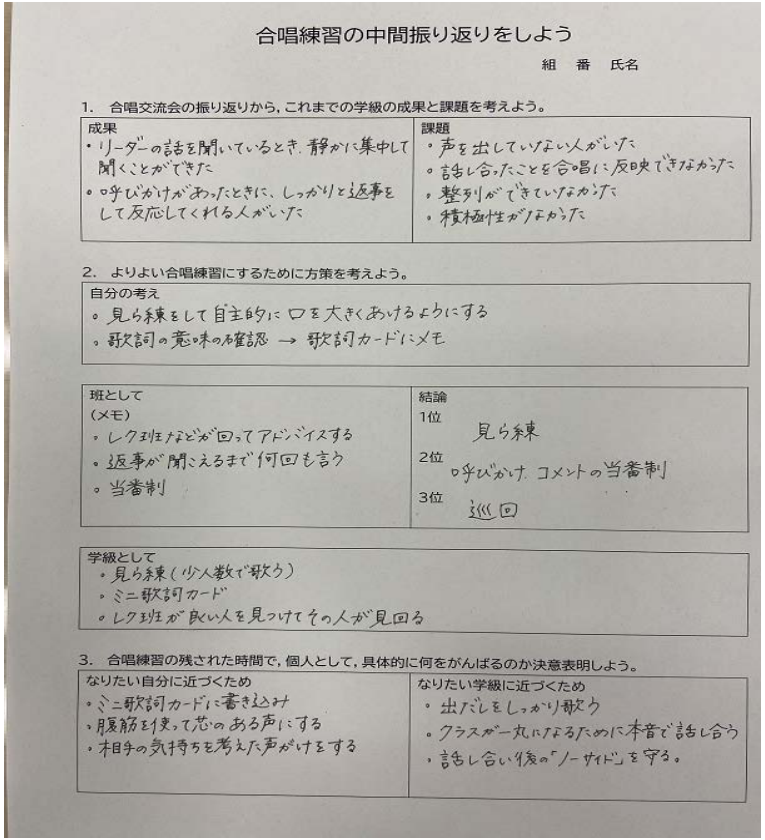
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
委員会活動	学校生活の充実・向上に向けて，計画的に取り組むことの大切さを理解し，実践している。	学校生活の充実・向上に向けて話し合い，活動内容を考えている。	学校生活の充実・向上に向けて計画的に取り組もうとしている。
行事への協力	学校行事において，生徒会としての考えを生かすための仕組みづくりなどを理解している。	学校行事の特質に応じて，生徒会としてどのような協力を行うべきか考えている。	生徒会の活動が学校行事の充実につながるように話し合ったり，活動したりしようとしている。

目指す姿に照らして，十分満足できる活動の状況と考えられる場合，○を付けることとする。

補助簿を用いて「委員会活動」「生徒会対面式」「3年生を送る会」を総括する例

生徒会活動について，委員会活動の様子や行事への協力の様子について見取るための補助簿の例である。委員会活動や行事への協力の様子など，それぞれの担当者が協力し，必要に応じてメモ欄に記載するなどして，評価の一助としていくことが考えられる。

各事例の概要について（第3編）　事例４



合唱練習の中間振り返りをしよう

組　番　氏名

1.　合唱交流会の振り返りから，これまでの学級の成果と課題を考えよう。

成果	課題
・リーダーの話を聞いているとき，静かに集中して聞くことができた ・呼びかけがあったときに，しっかりと返事をして反応してくれる人がいた	・声を出していない人がいた ・話し合ったことを合唱に反映できなかった ・整列ができていなかった ・積極性がなかった

2.　よりよい合唱練習にするために方策を考えよう。

自分の考え
・見ら練をして自主的に口を大きくあけるようにする
・歌詞の意味の確認 → 歌詞カードにメモ

班として	結論
（メモ） ・レク班などが回ってアドバイスする ・返事が聞こえるまで何回も言う ・当番制	1位　見ら練 2位　呼びかけ，コメントの当番制 3位　巡回

学級として
・見ら練（少人数で歌う）
・ミニ歌詞カード
・レク班が良い人を見つけてその人が見回る

3.　合唱練習の残された時間で，個人として，具体的に何をがんばるのか決意表明しよう。

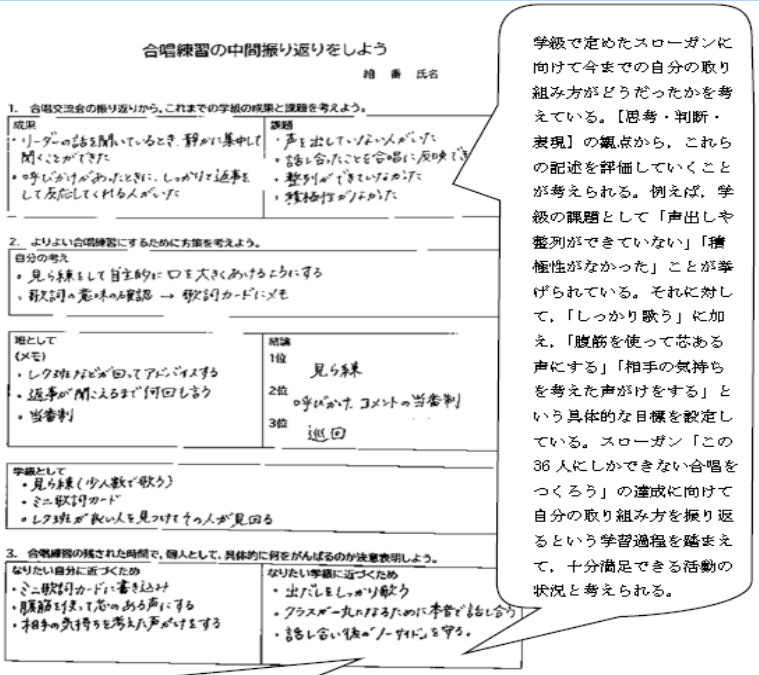
なりたい自分に近づくため	なりたい学級に近づくため
・ミニ歌詞カードに書き込み ・腹筋を使って芯のある声にする ・相手の気持ちを考えた声かけをする	・出だしをしっかり歌う ・クラスが一丸になるために本音で話し合う ・話し合い後の「ノーサイド」を守る。

事例４　学校行事の指導と評価の計画から評価の総括まで

合唱コンクール「互いのよさを生かそう」（（２）文化的行事）（全学年）

合唱コンクールを通じて学級生活の改善や自己実現を図ることを題材にした一連の活動計画例，１単位時間の指導計画例，ワークシートを参考とした評価の工夫例を示した。また，教師の補助簿を活用して評価結果を累積する工夫例についても取り上げた

各事例の概要について（第3編）　事例４



合唱練習の中間振り返りをしよう

組　番　氏名

1. 合唱交流会の振り返りから，これまでの学級の成果と課題を考えよう。

成果
・リーダーの話を聞いているとき，静かに集中して聞くことができた
・呼びかけがあったときに，しっかりと返事をして反応してくれる人がいた

課題
・声を出していない人がいた
・話し合ったことを合唱に反映できなかった
・整列ができていなかった
・積極性がなかった

2. よりよい合唱練習にするために方策を考えよう。

自分の考え
・見ら練をして自主的に口を大きくあけることにする
・歌詞の意味の確認 → 歌詞カードにメモ

班として
(メモ)
・レク班などが回ってアドバイスする
・返事が聞こえるまで何回もやる
・当番制

結論
1位　見ら練
2位　呼びかけ，コメントの当番制
3位　巡回

学級として
・見ら練（少人数で歌う）
・ミニ歌詞カード
・レク班が良い人を見つけてその人が見回る

3. 合唱練習の残された時間で，個人として，具体的に何をがんばるのか決意表明しよう。

なりたい自分に近づくため
・ミニ歌詞カードに書き込み
・腹筋を使って芯のある声にする
・相手の気持ちを考えた声かけをする

なりたい学級に近づくため
・出だしをしっかり歌う
・クラスが一丸になるために本音で話し合う
・話し合い後の“ノーサイド”を守る。

学級で定めたスローガンに向けて今までの自分の取り組み方がどうだったかを考えている。［思考・判断・表現］の観点から，これらの記述を評価していくことが考えられる。例えば，学級の課題として「声出しや整列ができていない」「積極性がなかった」ことが挙げられている。それに対して，「しっかり歌う」に加え，「腹筋を使って芯ある声にする」「相手の気持ちを考えた声かけをする」という具体的な目標を設定している。スローガン「この36人にしかできない合唱をつくろう」の達成に向けて自分の取り組み方を振り返るという学習過程を踏まえて，十分満足できる活動の状況と考えられる。

「なりたい自分」「なりたい学級」という理想に近付けているか振り返り，学級の合唱をよくしようとしている。［主体的態度］の観点から，この記述を評価していくことが考えられる。例えば，この記述では「話し合ったことが合唱に反映できなかった」という課題に対して「クラスが一丸になるために本音で話し合う」というポイントを設定している。また，本音の「話し合いの後の“ノーサイド”を守る」という記述から「学級の合唱（生活）をよくしようとしている」という目指す生徒の姿に照らして十分満足できる活動の状況と考えられる。

ワークシートの記述内容を参考にして評価する工夫例

　ワークシートの記述内容から，生徒の変容などを見取り，評価の参考とした例を示している。

目指す生徒の姿

○学級で定めたスローガンに向けて今までの自分の取り組み方がどうだったかを振り返って考えている。

○「なりたい自分」「学級をこうしていきたい」という理想に近づけているか振り返り，学級の合唱をよくしようとしている。

各事例の概要について（第3編）　事例４

【事前】

自分がどうなりたいか
- 人まかせにせず、みんなで前進していく意識を持つ
- 時間を見て行動する
- 歌詞の意味を考える

【事前】

なりたい自分に近づくためにやること
- アドバイスを積極的に取り入れる
- 正しい姿勢で腹筋を使い、芯のある声を出す
- 姿勢で示して、みんなに認めてもらえるようにする

仲間と協力して取り組んだことで，これから学級のために自分ができることを考えることができる。【思考・判断・表現】という姿について，これから自分がやるべきことが明確に記述されており，十分満足できる活動の状況と考えられる。

ワークシートの記述内容を参考にして評価する工夫例

ワークシートの記述内容から，生徒の変容などを見取り，評価の参考とした例を示している。

各事例の概要について（第3編）　事例４

【本時】

自分が成長したこと
- みんなの思いを考えることができた
- 時間を見て動くことができた
- リーダーを支えることができた

仲間と協力し，目標に向かって努力することの大切さを理解している。［知識・技能］という姿について，「みんなの思いを考えることができた」「リーダーを支えることができた」という記述から，十分満足できる活動の状況と考えられる。

自分ががんばるべきこと
- もっと行動力をつけたい
- ものごとを多面的に考えられるようになりたい
- 相手の気持ちを考え，1人1人に声がけしたい
- ついてきてもらえるようなリーダーになりたい

合唱への取組を振り返り，自己の成長に気付き，よさを伸ばそうとしている。［主体的態度］という姿について，自分ががんばるべきことの記述から，「相手の気持ちを考え一人一人に声がけしたい」「もっと行動力をつけたい」などという自己の成長に気付き，それを伸ばそうということが表現されており，十分満足できる活動の状況と考えられる。

ワークシートの記述内容を参考にして評価する工夫例

ワークシートの記述内容から，生徒の変容などを見取り，評価の参考とした例を示している。

各事例の概要について（第3編）　事例４

					（5）幼稚園ボランティアに参加し，遊具を丁寧に洗った。	
3	C	（1）（5）	（1）（2）（5）	（1）（2）（5）	（1）入学式で生徒代表として新入生歓迎のことばを述べた。 （2）パートリーダーとして音取りの中心になって練習した。 （5）台風で被災した方への募金活動を企画し，活動した。	○
4	D	（4）		（5）	（4）宿泊行事で係の仕事を，責任をもって行った。 （5）募金活動に参加した。	
5	E	（3）	（3）	（3）	（3）体育祭では，応援リーダーや選手として活躍した。	

各観点が十分満足できる活動の状況となる行事の種類やメモを参考に総括的な評価を行うことが考えられる。行事の種類がいくつで「十分満足できる活動の状況」とするなど，校内で共通理解を図り方針を明確にして，年間の評価の欄に○を付ける。

補助簿を活用した例

学校行事の種類ごとに生徒の活動の様子を記録をしておくことで，総括的な評価を行う際の参考にする例を示している。また，生徒のプリント等への記述内容に加え，メモ欄に生徒の様子を記録しておくことで，評価の参考資料とする例を示している。

各事例の概要について（第3編）　事例４

各行事で目指す生徒の姿を明確にし，校内で共通理解を図っておく必要がある。

番号	目指す生徒像 / 氏名	体育祭			校外学習			文化祭			メモ	総括
		体育祭の意義を理解している。	体育祭に向け，他者と協力して，適切に判断し行動している。集団で協力している。	運動に親しみ，体力の向上に積極的に取り組もうとしている。	校外学習の意義を理解している。	日常とは異なる環境の中で，集団生活の在り方などについて考え，行動している。	校外学習の地で，自然や文化に親しみ，新たな視点から学校生活などの意義を考えようとしている。	文化祭の意義を理解している。	仲間と協力して学習の成果を発表したり，自他の個性を認め，高め合ったりしている。	文化祭活動に見通しをもって取り組んだり，自己の成長を振り返ったりして，自身を高めようとしている。		
1	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	応援リーダーとして，状況に応じて適切に判断し，指示を出した。（体育祭） 校外での過ごし方について集団としてあるべき姿を理解して行動した。（校外学習） 積極的に合唱練習に取り組んだ。（文化祭）	○
2	B			○		○	○	○	○	○	積極的にその土地の方とふれあいをもった。（校外学習） 生活係として責任をもって部屋点検を行った。（校外学習） 学級の代表としてステージで自分の考えを発表した。（文化祭）	○

補助簿を活用した例

学校行事の評価において，すべての学校行事を評価するのではなく，特定の行事に重点を置いて評価する例を示している。体育祭，宿泊行事，文化祭の３つの行事に重点を置いた場合の補助簿の例である。

おわりに

生徒が自信をもったり，意欲を高めたりすることにつながる評価となるようにする。

↓

〇生徒一人一人のよい点や進捗の状況などよさや可能性を積極的に評価する。

〇「十分満足できる活動の状況」とは「生徒のどのような姿」を指すのかを検討し，学校全体で共通理解を図る。

生徒のよさや進歩の状況などをどのように捉えるかなどについて共通理解を図るとともに，教師相互の話合いや情報交換を積極的に行うなど，学校全体で組織的，計画的に行うことが大切である。

新学習指導要領に対応した学習評価（中学校　特別活動）

文部科学省　初等中等教育局
教育課程課教科調査官
児童生徒課生徒指導調査官
長田　徹

独立行政法人教職員支援機構